

日進市子ども・子育て支援事業計画 評価シート

シート番号： 1-1

| | | | | | | |
|---------|-----------------------|---|-----|-----|-----|-----|
| | 基本目標（P） | 1 子育てと社会参加の両立ができる環境づくり | | | | |
| | 個別目標（P） | （1）就学前児童の教育・保育ニーズへの対応 | | | | |
| | 具体的な個別目標① | 幼児教育の充実 | | | | |
| | 具体的な個別目標② | 民間保育施設への支援 | | | | |
| | 具体的な個別目標③ | | | | | |
| 活動指標（D） | 項目 | H31 目標 | H27 | H28 | H29 | H30 |
| | ① 幼稚園補助 | 6園 | 6園 | 6園 | 6園 | 6園 |
| | ② 民間認可保育所支援 | 5園 | 3園 | 3園 | 5園 | 6園 |
| | ③ 民間認可外保育所支援 | 5園 | 14園 | 7園 | 7園 | 4園 |
| 平成27年度 | 分析評価（C） ・評価、改善方策案等 | 幼稚園、民間認可保育所の支援は計画どおり実施できた。 | | | | |
| | 委員会意見 ・評価等に対する意見 | 量的な部分は順調に進んでいるが、質の向上も図られると良い。 | | | | |
| | 改善提案（A） ・次年度への取組等 | 民間認可外保育所は平成28年度から小規模保育施設に3園が移行することなどにより、支援する園が減少するが、新規も含め必要があれば支援していく。 | | | | |
| 平成28年度 | 分析評価（C） ・評価、改善方策案等 | 認可外保育所は、小規模保育施設に移行したことなどにより減少したが、幼稚園、民間認可保育所の支援は計画どおり実施できた。 | | | | |
| | 委員会意見 ・評価等に対する意見 | 量的な部分は順調に進んでいるが、質の向上も図られると良い。 | | | | |
| | 改善提案（A） ・次年度への取組等 | 支援員による巡回指導を実施しており、引き続き質の向上を図る。 | | | | |
| 平成29年度 | 分析評価（C） ・評価、改善方策案等 | 保育所1園の新規開設及び既存の認定こども園が新たに保育所型としての認可を得たことにより、保育所が2園増となった。幼稚園、民間認可保育所、民間認可外保育所について、計画通り支援の実施ができた。 | | | | |
| | 委員会意見 ・評価等に対する意見 | 引き続き質の向上を図ってほしい。また、幼児教育と保育の無償化実施に向けた情報の収集に努めてほしい。 | | | | |
| | 改善提案（A） ・次年度への取組等 | 巡回支援員による巡回指導を実施しており、引き続き質の向上を図る。 | | | | |

| | | |
|----------------|-----------------------|---|
| 平成 30 年度 | 分析評価（C） ・評価、改善方策案等 | 保育所1園の新規開設により、保育所が1園増となった。幼稚園、民間認可保育所、民間認可外保育所について、計画通り支援の実施ができた。 |
| | 委員会意見 ・評価等に対する意見 | 引き続き、質の向上を図ってほしい。また、幼児教育と保育の無償化実施に向けた取り組みに努めてほしい。 |
| | 改善提案（A） ・次年度への取組等 | 巡回支援員による巡回指導を実施しており、引き続き質の向上を図る。また、幼児教育と保育の無償化に向けて準備を進めていく。 |
| 備 考 | | 活動指標の所管：①②③こども課 |

日進市子ども・子育て支援事業計画 評価シート

シート番号： 1-2

| | | | | | | |
|----------------|-----------------------|---|-----|-----|-----|-----|
| 基本目標（P） | | 1 子育てと社会参加の両立ができる環境づくり | | | | |
| 個別目標（P） | | （2）多様で質の高い保育園サービス等の充実 | | | | |
| | 具体的な個別目標① | 保育の提供体制の充実 | | | | |
| | 具体的な個別目標② | | | | | |
| | 具体的な個別目標③ | | | | | |
| 活動指標（D） | 項目 | H31 目標 | H27 | H28 | H29 | H30 |
| | ① 小規模保育事業 | 5 施設 | — | 3園 | 3園 | 5園 |
| | ② 一時保育 (保育園) | 6 園 | 5園 | 5園 | 6園 | 6園 |
| | | | | | | |
| 平成 27 年度 | 分析評価（C） ・評価、改善方策案等 | 保育園による一時保育は、平成27年度から米野木台西保育園で実施し、合計で5園になった。 | | | | |
| | 委員会意見 ・評価等に対する意見 | 量的な部分は順調に進んでいるが、質の向上も図られると良い。 | | | | |
| | 改善提案（A） ・次年度への取組等 | 小規模保育施設は、平成28年4月から3園を開設していく。保育園による一時保育は、引き続き6園の実施に向けて推進していきたい。 | | | | |
| 平成 28 年度 | 分析評価（C） ・評価、改善方策案等 | 昨年度に引き続き、公立3園・私立2園で一時保育を実施し、利用者の利便を図った。 | | | | |
| | 委員会意見 ・評価等に対する意見 | 量的な部分は順調に進んでいるが、質の向上も図られると良い。 | | | | |
| | 改善提案（A） ・次年度への取組等 | 支援員による巡回指導を実施しており、引き続き質の向上を図る。 | | | | |
| 平成 29 年度 | 分析評価（C） ・評価、改善方策案等 | 新園が開園したことにより、公立3園・私立3園で一時保育を実施し、目標に到達した。引き続き、利用者の利便性の向上を目指し、充実を図っていく。 | | | | |
| | 委員会意見 ・評価等に対する意見 | 量的な部分は順調に進んでいるが、質の向上も図られると良い。 | | | | |
| | 改善提案（A） ・次年度への取組等 | 支援員による巡回指導を実施しており、引き続き質の向上を図る。 | | | | |

| | | |
|----------------|-----------------------|---|
| 平成 30 年度 | 分析評価（C） ・評価、改善方策案等 | 公立3園・私立3園で一時保育を実施しており、目標に到達している。引き続き、利用者の利便性の向上を目指し、充実を図っていく。 |
| | 委員会意見 ・評価等に対する意見 | 量的な部分は順調に進んでいるが、引き続き質の向上も図られると良い。 |
| | 改善提案（A） ・次年度への取組等 | 支援員による巡回指導を実施しており、引き続き質の向上を図る。 |
| 備 考 | | 活動指標の所管：①②こども課 |

日進市子ども・子育て支援事業計画 評価シート

シート番号： 1-3

| | | | | | | |
|---------|------------------------|--|-------|-------|-------|-------|
| 基本目標（P） | 1 子育てと社会参加の両立ができる環境づくり | | | | | |
| 個別目標（P） | （3）小学生の放課後の居場所づくりの充実 | | | | | |
| | 具体的な個別目標① | 放課後児童対策事業の充実 | | | | |
| | 具体的な個別目標② | | | | | |
| | 具体的な個別目標③ | | | | | |
| 活動指標（D） | 項目 | H31 目標 | H27 | H28 | H29 | H30 |
| | ① 民間児童クラブ支援 | 19 箇所 | 14 箇所 | 15 箇所 | 18 箇所 | 19 箇所 |
| | ② 放課後こども教室（放課子ども総合プラン） | 9箇所 | 6箇所 | 7箇所 | 9箇所 | 9箇所 |
| 平成27年度 | 分析評価（C） ・評価、改善方策案等 | 放課後子ども教室については、予定どおり導入することができた。また、民間学童保育所支援については、新たに5箇所のクラブが開設した。 | | | | |
| | 委員会意見 ・評価等に対する意見 | 量的な部分は順調に進んでいるが、質の向上も図られると良い。 | | | | |
| | 改善提案（A） ・次年度への取組等 | 民間学童保育所支援については、支援内容が統一されておらず、次年度に向けて統一した支援となるよう改善する。 | | | | |
| 平成28年度 | 分析評価（C） ・評価、改善方策案等 | 放課後こども教室、民間学童保育所それぞれ1箇所ずつ開設し、放課後こども教室についてはH29 全校開設に向けて、残り2校の施設整備を行った。また、民間学童保育所については、要綱改正を行い、全ての事業者の運営事業費の補助内容を統一した。 | | | | |
| | 委員会意見 ・評価等に対する意見 | 量的な部分は順調に進んでいるが、質の向上も図られると良い。 | | | | |
| | 改善提案（A） ・次年度への取組等 | 放課後子ども教室については、全校開設に取り組むと共に、良好な環境の提供に努める。 | | | | |
| 平成29年度 | 分析評価（C） ・評価、改善方策案等 | 市内全校で放課後こども教室を開設したことに伴い、放課後児童クラブと共通の活動場で様々なプログラムを一体的に行う「放課後子ども総合プラン」をH29から実施。 | | | | |
| | 委員会意見 ・評価等に対する意見 | 今後の子どもの増加を踏まえ、支援してほしい。 | | | | |
| | 改善提案（A） ・次年度への取組等 | 市内の子どもが過ごす放課後の居場所について、公設と民間との役割分担も含めて検討していく。 | | | | |

| | | |
|----------------|-----------------------|--|
| 平成 30 年度 | 分析評価（C） ・評価、改善方策案等 | 市内全校で放課後こども教室を開設したことに伴い、放課後児童クラブと共通の活動場所で様々なプログラムを一体的に行う「放課後子ども総合プラン」をH29から引き続き実施。 |
| | 委員会意見 ・評価等に対する意見 | 今後の子どもの増加を踏まえ、質と量の充実を図ってほしい。 |
| | 改善提案（A） ・次年度への取組等 | 質の充実については、事業者とのヒアリングを通じて、放課後児童健全育成の主旨に沿った事業を展開するよう促していく。また、量に関して、民間児童クラブの新規開設に向け事業者と連携して検討をしていく。 |
| 備 考 | | 活動指標の所管：①②子育て支援課 |

日進市子ども・子育て支援事業計画 評価シート

シート番号： 1-4

| | | | | | | |
|---------|-----------------------|---|-------|-------|-------|-------|
| | 基本目標（P） | 1 子育てと社会参加の両立ができる環境づくり | | | | |
| | 個別目標（P） | （4）男性の子育て参加の促進と育児中の親の社会参加の支援 | | | | |
| | 具体的な個別目標① | 預かりサービスの充実 | | | | |
| | 具体的な個別目標② | 男性の子育てへの支援 | | | | |
| | 具体的な個別目標③ | | | | | |
| 活動指標（D） | 項目 | H31 目標 | H27 | H28 | H29 | H30 |
| | ①ファミリー・サポート・センター事業 | 45% | 37.9% | 41.0% | 40.0% | 38.5% |
| | ②父親向け子育て講座 | 6回 | 6回 | 6回 | 5回 | 6回 |
| | | | | | | |
| 平成27年度 | 分析評価（C） ・評価、改善方策案等 | ファミリーサポートセンター事業について、援助会員は前年度比で微減となった。 | | | | |
| | 委員会意見 ・評価等に対する意見 | 量的な部分は順調に進んでいるが、質の向上も図られると良い。 | | | | |
| | 改善提案（A） ・次年度への取組等 | ファミリーサポートセンター事業について、援助会員の確保について今後も周知啓発に取り組み、増加を図る。また、父親向け子育て講座は今後も継続して開催していく。 | | | | |
| 平成28年度 | 分析評価（C） ・評価、改善方策案等 | ①ファミリー・サポートセンター事業については、前年度と比較して援助・両方会員が増加した。会員の活動に役立つ学習の機会として年3回勉強会を開催し、会員のスキルアップに努めた。 | | | | |
| | 委員会意見 ・評価等に対する意見 | 量的な部分は順調に進んでいるが、質の向上も図られると良い。 | | | | |
| | 改善提案（A） ・次年度への取組等 | 援助会員の確保について、今後も周知啓発に取り組み、増加を図ると共に、勉強会の開催によるスキルアップを図る。 | | | | |
| 平成29年度 | 分析評価（C） ・評価、改善方策案等 | ①ファミリー・サポートセンター事業については、前年度と比較して援助会員は増加したが、それ以上に依頼会員が増加したため活動指標としては減少した。 ②土曜日に開催した講座については父親の子育て参加を啓発することができた。 | | | | |
| | 委員会意見 ・評価等に対する意見 | 援助会員の増加に努めてほしい。 | | | | |
| | 改善提案（A） ・次年度への取組等 | 援助会員の確保について、今後も周知啓発に取り組み、増加を図ると共に、勉強会の開催によるスキルアップを図る。 | | | | |

| | | |
|----------------|-----------------------|--|
| 平成 30 年度 | 分析評価（C） ・評価、改善方策案等 | ①ファミリー・サポートセンター事業については、前年度と比較して援助会員 依頼会員ともに微減となった。依頼会員以上に援助会員が減少したため活動指 標としては減少した。 ②土曜日に開催した講座については父親の子育て参加を啓発することができ た。 |
| | 委員会意見 ・評価等に対する意見 | ファミリー・サポートセンター事業については、ニーズが多様化していること から、事業の位置づけも含め、今後のあり方について検討してほしい。 |
| | 改善提案（A） ・次年度への取組等 | ファミリー・サポートセンター事業は、幼児教育と保育の無償化の対象事業で もることから、今後のあり方について検討を進める。 |
| 備 考 | | 活動指標の所管：①②子育て支援課 |

日進市子ども・子育て支援事業計画 評価シート

シート番号： 2-1

| | | | | | | |
|---------|------------------------|--|-------|-------|-------|-------|
| 基本目標（P） | 2 すべての子育て家庭を支援する仕組みづくり | | | | | |
| 個別目標（P） | （1）地域における子育て支援サービスの充実 | | | | | |
| | 具体的な個別目標① | 地域子育て力の充実 | | | | |
| | 具体的な個別目標② | 子育て支援サービスの充実 | | | | |
| | 具体的な個別目標③ | | | | | |
| 活動指標（D） | 項目 | H31 目標 | H27 | H28 | H29 | H30 |
| | ①子育てサークル活動支援 | 20 団体 | 22 団体 | 20 団体 | 16 団体 | 19 団体 |
| | ②子育てボランティアの育成支援 | 10 団体 | 10 団体 | 9 団体 | 9 団体 | 8 団体 |
| | ③おじゃまん保育（親支援プログラム） | 16 回 | 24 回 | 25 回 | 37 回 | 39 回 |
| 平成27年度 | 分析評価（C） ・評価、改善方策案等 | ①子育て総合支援センターに加え、南部、西部、岩崎台・香久山福祉会館で子育ての支援のための親子の交流、地域における友だちづくりの場を提供することができた。 ③おじゃまん保育については、地域に出向いて開催するほっとサロンを月1回開催し、実施回数が増加した。今後も継続して実施していく。 | | | | |
| | 委員会意見 ・評価等に対する意見 | 数値的には目標値どおり推移しており、継続する。 | | | | |
| | 改善提案（A） ・次年度への取組等 | ②子育てボランティアグループを側面的に支援し、継続的に取り組んでいけるようサポートしていく。 ③おじゃまん保育については、今後も継続して実施していく。 | | | | |
| 平成28年度 | 分析評価（C） ・評価、改善方策案等 | ①子育て総合支援センターでは情報交換会や研修会を開催するなど子育て支援サークルの育成及び活動の支援を行った。また、サークルをHPに掲載したり、「子育てサークルPR会」を開催し、子育てサークルの周知を図った。子育て総合支援センター、南部、西部、岩崎台・香久山福祉会館で子育て支援のための親子の交流、地域における友だちづくりの場を提供することができた。 ②活動補助として助成金に関する支援のみで、具体的な活動に対する支援ができていない状況。今後は継続的な活動をしていくために、活動内容に関する協力体制が必要。 | | | | |
| | 委員会意見 ・評価等に対する意見 | 数値的には目標値どおり推移しており、継続する。 | | | | |
| | 改善提案（A） ・次年度への取組等 | ③来年度から、出張ひろばを毎週1回に拡充して実施する。 | | | | |
| 平成29年度 | 分析評価（C） ・評価、改善方策案等 | ①子育て総合支援センターでは、子育てサークルを訪問し、子育てに関する相談に個別で対応したり、情報交換会やPR会を開催し、子育てサークルの育成及び活動支援を行った。また、例年同様、子育て総合支援センターや南部、西部、岩崎台・香久山福祉会館で子育て支援のための親子の交流、地域における友だちづくりの場を提供することができた。 ②活動補助として助成金に関する支援のみで、具体的な活動に対する支援ができていない状況。今後は継続的な活動をしていくために、活動内容に関する協力体制が必要。 ③毎週水曜日に地域で開催するほっとサロン等において講座を実施し、保護者の子育てに対するストレスの解消に努めた。 | | | | |
| | 委員会意見 ・評価等に対する意見 | 数値的には、ほぼ目標値どおり推移しており、継続する。 | | | | |
| | 改善提案（A） ・次年度への取組等 | ③出張ひろばの開催について、エリアを拡大して実施する。 | | | | |

| | | |
|----------------|--|---|
| 平成 30 年度 | 分析評価（C） ・評価、改善方策案等 | <p>①子育て総合支援センターでは、子育てサークルを訪問し、子育てに関する相談に個別に対応したり、情報交換会やPR会を開催し、子育てサークルの育成及び活動支援を行った。また、例年同様、子育て総合支援センターや南部、西部、岩崎台・香久山福祉会館で子育て支援のための親子の交流、地域における友だちづくりの場を提供することができた。</p> <p>②活動補助として助成金に関する支援のみで、具体的な活動に対する支援ができていない状況。今後は継続的な活動をしていくために、活動内容に関する協力体制が必要。</p> <p>③毎週水曜日に地域で開催するほっとサロン等において講座を実施し、保護者の子育てに対するストレスの解消に努めた。</p> |
| | 委員会意見 ・評価等に対する意見 | 数値的には、ほぼ目標値どおり推移しており、継続する。 |
| | 改善提案（A） ・次年度への取組等 | 引き続き子育て総合支援センターを通じて、地域における子育て支援活動の支援を図る。 |
| 備考 | 活動指標の所管：①子育て支援課、福祉会館、②社会福祉協議会 ③子育て支援課 | |

日進市子ども・子育て支援事業計画 評価シート

シート番号： 2-2

| | | | | | | |
|---------|---------------------------|--|-------|-------|-------|-------|
| | 基本目標（P） | 2 すべての子育て家庭を支援する仕組みづくり | | | | |
| | 個別目標（P） | （2）子育て相談・情報の充実 | | | | |
| | 具体的な個別目標① | 相談支援体制の充実 | | | | |
| | 具体的な個別目標② | 子育て情報の充実 | | | | |
| | 具体的な個別目標③ | | | | | |
| 活動指標（D） | 項目 | H31 目標 | H27 | H28 | H29 | H30 |
| | ①利用者支援事業【新規】 | 2 箇所 | 未実施 | 未実施 | 2 箇所 | 2 箇所 |
| | ②ほっとサポート事業 (携帯メール情報配信) | 70% (利用率) | 71.1% | 64.0% | 61.9% | 65.3% |
| 平成27年度 | 分析評価（C） ・評価、改善方策案等 | ②ほっとサポート事業については、配信されたメールを読んでいる割合を指標としているが、目標をクリアしている。 | | | | |
| | 委員会意見 ・評価等に対する意見 | 利用者支援事業の実施について、保健センターとの連携を図ってほしい。 | | | | |
| | 改善提案（A） ・次年度への取組等 | ①平成29年度から実施する予定で進めている。 | | | | |
| 平成28年度 | 分析評価（C） ・評価、改善方策案等 | ①平成29年度実施に向け、子育て支援総合センターの指定管理者選定の見直しを行った際に、利用者支援事業を事業内容に追加するなど条例改正をした。ほっとサポート事業のメール配信利用率は微減した。 | | | | |
| | 委員会意見 ・評価等に対する意見 | 利用者支援事業の実施について、保健センターとの連携を図り、良い方向に進むように考えてほしい。 | | | | |
| | 改善提案（A） ・次年度への取組等 | ①保健センターで実施する母子保健型のコーディネーターとの連携を密に取りながら実施する。 | | | | |
| 平成29年度 | 分析評価（C） ・評価、改善方策案等 | ①妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援を提供するため、「子育て世代包括支援センター」として、平成29年度から基本型を子育て総合支援センターで、母子保健型を保健センターで実施。 ②ほっとサポート事業のメール配信利用率は微減した。 | | | | |
| | 委員会意見 ・評価等に対する意見 | 利用者支援事業の実施について、引き続き保健センターとの連携を図り、良い方向に進むように考えてほしい。 | | | | |
| | 改善提案（A） ・次年度への取組等 | 引き続き、妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援を提供するため、「子育て世代包括支援センター」として実施する。 | | | | |

| | | |
|----------------|-----------------------|---|
| 平成 30 年度 | 分析評価（C） ・評価、改善方策案等 | ①妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援を提供するため、「子育て世代包括支援センター」として、平成29年度に引き続き基本型を子育て総合支援センターで、母子保健型を保健センターで実施。 ②ほっとサポート事業のメール配信利用率は微増した。 |
| | 委員会意見 ・評価等に対する意見 | ①利用者支援事業の実施について、引き続き保健センターとの連携を強化し、良い方向に進むように考えてほしい。 ②ほっとサポート事業のメール配信については、現在の情報端末の普及状況も鑑み今後のあり方を検討してほしい。 |
| | 改善提案（A） ・次年度への取組等 | ①引き続き、妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援が提供できるよう、関係機関との連携を充実させていくことを検討する。 ②スマートフォンが普及していることから、子育て支援関連のアプリの導入を検討していく。 |
| 備考 | | 活動指標の所管：①子育て支援課、健康課 ②子育て支援課 |

日進市子ども・子育て支援事業計画 評価シート

シート番号： 2-3

| | | | | | | |
|---------|-----------------------|---|-----|-----|-----|-----|
| 基本目標（P） | | 2 すべての子育て家庭を支援する仕組みづくり | | | | |
| 個別目標（P） | | （3）経済的な支援の継続 | | | | |
| | 具体的な個別目標① | 子育て家庭に対する経済的支援の充実 | | | | |
| | 具体的な個別目標② | | | | | |
| | 具体的な個別目標③ | | | | | |
| 活動指標（D） | 項目 | H31 目標 | H27 | H28 | H29 | H30 |
| | ①実費徴収に係る補足給付を行う事業【新規】 | 実施 | 未実施 | 未実施 | 未実施 | 未実施 |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| 平成27年度 | 分析評価（C） ・評価、改善方策案等 | 今後実施に向けて研究していく。 | | | | |
| | 委員会意見 ・評価等に対する意見 | 補足給付については、今後検討してほしい。 | | | | |
| | 改善提案（A） ・次年度への取組等 | 今後実施に向けて研究していく。 | | | | |
| 平成28年度 | 分析評価（C） ・評価、改善方策案等 | 昨年度に引き続き、今後実施に向けて研究していく。 | | | | |
| | 委員会意見 ・評価等に対する意見 | 補足給付については、今後検討してほしい。 | | | | |
| | 改善提案（A） ・次年度への取組等 | 今後実施に向けて研究していく。 | | | | |
| 平成29年度 | 分析評価（C） ・評価、改善方策案等 | 今後実施に向けて研究していく。 | | | | |
| | 委員会意見 ・評価等に対する意見 | 補足給付について、必要かどうかも含めて検討してほしい。 | | | | |
| | 改善提案（A） ・次年度への取組等 | 実施の可否、必要性について検討が必要であると考えているため、今後検討していく。 | | | | |

| | | |
|----------------|-----------------------|---|
| 平成 30 年度 | 分析評価（C） ・評価、改善方策案等 | 今後実施に向けて研究していく。 |
| | 委員会意見 ・評価等に対する意見 | 補足給付について、必要かどうかも含めて検討してほしい。 |
| | 改善提案（A） ・次年度への取組等 | 実施の可否、必要性について検討が必要であると考えているため、今後検討していく。 |
| 備 考 | | 活動指標の所管：①こども課 |

日進市子ども・子育て支援事業計画 評価シート

シート番号： 3-1

| | | | | | | |
|---------|-----------------------|---|-------|-------|-------|-------|
| | 基本目標（P） | 3 安心して出産し、母子とも健康に暮らせる環境づくり | | | | |
| | 個別目標（P） | （1）安心な妊娠・出産への支援 | | | | |
| | 具体的な個別目標① | 学習機会・相談体制の充実 | | | | |
| | 具体的な個別目標② | 妊娠・出産に対する経済的支援の充実 | | | | |
| | 具体的な個別目標③ | | | | | |
| 活動指標（D） | 項目 | H31 目標 | H27 | H28 | H29 | H30 |
| | ①マタニティ教室 | 300 人 | 214 人 | 167 人 | 182 人 | 115 人 |
| | ②パパママ教室 | 420 人 | 310 人 | 461 人 | 421 人 | 402 人 |
| | ③一般不妊治療費助成 | 実施 | 78 件 | 72 件 | 64 件 | 61 件 |
| 平成27年度 | 分析評価（C） ・評価、改善方策案等 | マタニティ教室、パパママ教室は H26 年度と同程度の参加があった。一般不妊治療費助成は助成を希望する対象者すべてに助成することができた。 | | | | |
| | 委員会意見 ・評価等に対する意見 | 母子保健について、包括支援センターの設置を見据え、目標設定の変更も検討する必要がある。 | | | | |
| | 改善提案（A） ・次年度への取組等 | パパママ教室は定員を上回る申し込みがあったため、定員の見直し等を検討する必要がある。 | | | | |
| 平成28年度 | 分析評価（C） ・評価、改善方策案等 | パパママ教室は 1 日コースを半日単位で参加できるようにし、要望の多かった沐浴・妊婦体験の回数を増やしたため参加人数が昨年度より増加した。一般不妊治療費助成は助成を希望する対象者すべてに助成することができた。 | | | | |
| | 委員会意見 ・評価等に対する意見 | 母子保健について、包括支援センターの設置を見据え、目標設定の変更も検討する必要がある。 | | | | |
| | 改善提案（A） ・次年度への取組等 | 引き続きパパママ教室等の支援を実施する。 | | | | |
| 平成29年度 | 分析評価（C） ・評価、改善方策案等 | ②パパママ教室はエクササイズの参加者が減少したがアンケートからは参加者の満足度は高く評価されている。沐浴・妊婦体験は H28 年度と同程度の参加があった。 ③一般不妊治療費助成は助成を希望する対象者すべてに助成することができた。 | | | | |
| | 委員会意見 ・評価等に対する意見 | 母子保健について、包括支援センターの設置を見据え、目標設定の変更も検討する必要がある。 | | | | |
| | 改善提案（A） ・次年度への取組等 | 引き続きパパママ教室等の支援を実施する。 | | | | |

| | | |
|----------------|-----------------------|--|
| 平成 30 年度 | 分析評価（C） ・評価、改善方策案等 | ①②参加者が減少しているが、アンケートからは参加者の満足度は高く評価されている。 ③一般不妊治療費助成は助成を希望する対象者すべてに助成することができた。 |
| | 委員会意見 ・評価等に対する意見 | 子育て世代包括支援センター「ひよこテラス」からのつなぎを充実させてほしい。 |
| | 改善提案（A） ・次年度への取組等 | 安心して妊娠・出産できるような支援を継続する。 |
| 備 考 | | 活動指標の所管：①②③健康課 |

日進市子ども・子育て支援事業計画 評価シート

シート番号： 3-2

| | | | | | | |
|---------|----------------------------|---|-------|-------|-------|-------|
| 基本目標（P） | 3 安心して出産し、母子とも健康に暮らせる環境づくり | | | | | |
| 個別目標（P） | （2）子どもや母親への健康支援 | | | | | |
| | 具体的な個別目標① | 乳幼児健診・予防接種事業の充実 | | | | |
| | 具体的な個別目標② | 育児相談・訪問事業の充実 | | | | |
| | 具体的な個別目標③ | | | | | |
| 活動指標(D) | 項目 | H31 目標 | H27 | H28 | H29 | H30 |
| | ①乳幼児健康診査 | 99% | 99.0% | 99.1% | 99.0% | 98.9% |
| | ②予防接種 (麻しん接種率) | 98.5% | 95.3% | 97.3% | 96.2% | 98.7% |
| | ③養育支援訪問 | 15 世帯 | 8 世帯 | 8 世帯 | 5 世帯 | 4 世帯 |
| 平成27年度 | 分析評価（C） ・評価、改善方策案等 | 乳幼児健康診査の受診率は目標値に達することができた。未受診者は家庭訪問等で把握をしている。麻しん予防接種は、未接種者への個別勧奨を行っている。養育支援訪問は、必要者に訪問し支援できた。 | | | | |
| | 委員会意見 ・評価等に対する意見 | 今後、切れ目の無い支援も個別目標に入れていくことを検討してほしい。 | | | | |
| | 改善提案（A） ・次年度への取組等 | 養育支援訪問について、平成29年度からの家事支援実施に向け、準備を行う。 | | | | |
| 平成28年度 | 分析評価（C） ・評価、改善方策案等 | 乳幼児健康診査の受診率は目標値に達することができた。未受診者は家庭訪問等で把握をしている。麻しん予防接種は、未接種者への個別勧奨を行っている。養育支援訪問は、必要者に訪問し支援できた。 | | | | |
| | 委員会意見 ・評価等に対する意見 | 養育支援訪問について、平成29年度からの家事支援実施に向け、準備を行う。 | | | | |
| | 改善提案（A） ・次年度への取組等 | 養育支援訪問について、関係機関と調整し、家事支援の実施に取り組む。 | | | | |
| 平成29年度 | 分析評価（C） ・評価、改善方策案等 | ①乳幼児健康診査の受診率は目標値を達成した。積極的に未受診者へ勧奨していく。 ②麻しん予防接種は、未接種者への個別勧奨を行っている。 ③養育支援訪問は、必要者に対して実施し支援することができた。 | | | | |
| | 委員会意見 ・評価等に対する意見 | 養育支援訪問に関する指標について、訪問件数もわかると良い。 | | | | |
| | 改善提案（A） ・次年度への取組等 | 養育支援訪問について、本当に必要な人に対して支援していくと共に、指標として、支援世帯数だけでなく訪問件数の把握に努める。 | | | | |

| | | |
|----------------|-----------------------|---|
| 平成 30 年度 | 分析評価（C） ・評価、改善方策案等 | ① 乳幼児健康診査の受診率は一定の受診率を維持している。今後も積極的に未受診者へ勧奨していく。 ②麻しん予防接種は、目標値を達成した。継続して未接種者への個別勧奨を行っていく。 ③養育支援訪問は、必要者に対して実施し支援することができた。 |
| | 委員会意見 ・評価等に対する意見 | 養育支援訪問に関する指標について、のべ訪問回数もわかると良い。 |
| | 改善提案（A） ・次年度への取組等 | 次計画の指標設定において、より適切な指標設定に努める。 |
| 備 考 | | 活動指標の所管：①②健康課 ③健康課、子育て支援課 |

日進市子ども・子育て支援事業計画 評価シート

シート番号： 3-3/4-4

| | | | | | | |
|---------|-----------------------|--|------|------|------|------|
| 基本目標（P） | | 3 安心して出産し、母子とも健康に暮らせる環境づくり 【4 親と子の学びと育ちを促すまちづくり】 | | | | |
| 個別目標（P） | | （3）子どもの成長に合わせた健康事業の推進 【（4）豊かな心と健やかな身体の育成】 | | | | |
| | 具体的な個別目標① | 豊かな心を育てる機会の提供 | | | | |
| | 具体的な個別目標② | 健やかな身体を育む機会の提供 | | | | |
| | 具体的な個別目標③ | 子どもが相談できる場の充実 | | | | |
| 活動指標（D） | 項目 | H31 目標 | H27 | H28 | H29 | H30 |
| | ①赤ちゃんふれあい体験 | 360人 | 291人 | 310人 | 264人 | 296人 |
| | ②少年少女向けスポーツ教室 | 100人 | 68人 | 62人 | 70人 | 68人 |
| | ③スクールソーシャルワーカーの配置 | 4人 | 1人 | 2人 | 2人 | 3人 |
| 平成27年度 | 分析評価（C） ・評価、改善方策案等 | ①中学生が乳幼児及びその保護者と接することで育児の楽しさや大変さ、命の大切さを学ぶことができた。現在は中学校1校のみで実施。 ②少年少女向けスポーツ教室は3教室（サッカー教室、トランポリン教室×2）開催しており、すべて定員以上の応募がある。 | | | | |
| | 委員会意見 ・評価等に対する意見 | スクールソーシャルワーカーや心の問題について、学校だけが抱え込むのではなく、地域や社会と連携して進んでほしい。 | | | | |
| | 改善提案（A） ・次年度への取組等 | ①今後の実施方針等について検討する必要がある。 ②教室以外にも、ライフスポーツ体験会など、気軽にスポーツに触れることができる機会を設けていきたい。 ③H28より2名配置する。以後の定着を図りたい。 | | | | |
| 平成28年度 | 分析評価（C） ・評価、改善方策案等 | ①中学生が乳幼児及びその保護者と接することで育児の楽しさや大変さ、命の大切さを学ぶことができた。現在は中学校1校のみで実施。 ②少年少女向けスポーツ教室は3教室（サッカー教室、トランポリン教室×2）開催しており、トランポリン教室については定員を超える応募があったが、サッカー教室について前年度より参加者が減少している。 ③スクールソーシャルワーカーが子どもの抱えている問題に対して、真摯に向き合い、ケース会議の開催や、関係機関との連絡調整を積極的に進め、問題解決に努めることができた。 | | | | |
| | 委員会意見 ・評価等に対する意見 | スクールソーシャルワーカーや心の問題について、学校だけが抱え込むのではなく、地域や社会と連携して進んでほしい。 | | | | |
| | 改善提案（A） ・次年度への取組等 | ①今後の実施方針等について検討する必要がある。 ②教室以外にも、ライフスポーツ体験会など、気軽にスポーツに触れることができる機会を設けていく。 ③配置したスクールソーシャルワーカーの以後の定着を図る。 | | | | |
| 平成29年度 | 分析評価（C） ・評価、改善方策案等 | ①中学生が乳幼児及びその保護者と接することで育児の楽しさや大変さ、命の大切さを学ぶことができた。現在は中学校1校のみで実施。 ②事業によっては定員に満たないものもあるため、事業内容の精査が必要である。 ③スクールソーシャルワーカーが子どもの抱えている問題に対して、真摯に向き合い、ケース会議の開催や、関係機関との連絡調整を積極的に進め、問題解決に努めることができた。 | | | | |
| | 委員会意見 ・評価等に対する意見 | スクールソーシャルワーカーや心の問題について、学校だけが抱え込むのではなく、地域や社会と連携して進んでほしい。 | | | | |
| | 改善提案（A） ・次年度への取組等 | ①今後の実施方針等について検討する必要がある。 ②教室以外にも、ライフスポーツ体験会など、気軽にスポーツに触れることができる機会を設けていく。 ③配置したスクールソーシャルワーカーの以後の定着を図る。 | | | | |

| | | |
|----------------|-----------------------|---|
| 平成 30 年度 | 分析評価（C） ・評価、改善方策案等 | <p>①中学生が乳幼児及びその保護者と接することで育児の楽しさや大変さ、命の大切さを学ぶことができた。現在は中学校 1 校のみで実施。</p> <p>②事業内容を精査し、より効果的な事業に変更する方向で講座の見直しを行った。</p> <p>③スクールソーシャルワーカーが、子どもが抱える諸問題に対して真摯に向き合い、ケース会議の開催や関係機関との連絡調整を積極的に進め、問題解決に努めることができた。平成30年度から1名増員されたことにより、相談件数が増え、よりきめ細やかに対応することができた。</p> <p>今後さらに相談件数の増加がみこまれるため、各中学校区に1名（計4名）配置を目指す。</p> |
| | 委員会意見 ・評価等に対する意見 | <p>スクールソーシャルワーカーや心の問題について、学校だけが抱え込むのではなく、地域や社会と連携して進んでほしい。</p> |
| | 改善提案（A） ・次年度への取組等 | <p>③今後さらに相談件数の増加がみこまれるため、各中学校区に1名（計4名）配置を目指す。</p> |
| 備 考 | | 活動指標の所管：①健康課 ②生涯学習課 ③学校教育課 |

日進市子ども・子育て支援事業計画 評価シート

シート番号： 4-1

| | | | | | | |
|----------|-----------------------|--|-------|-------|-------|-------|
| 基本目標（P） | | 4 親と子の学びと育ちを促すまちづくり | | | | |
| 個別目標（P） | | （1）子どもの権利を尊重する地域社会の形成 | | | | |
| | 具体的な個別目標① | 子どもの権利に関する普及啓発 | | | | |
| | 具体的な個別目標② | いじめや非行防止・子どもの安全の確保 | | | | |
| | 具体的な個別目標③ | | | | | |
| 活動指標（D） | 項目 | H31 目標 | H27 | H28 | H29 | H30 |
| | ①条例の普及 | 実施 | 実施 | 実施 | 実施 | 実施 |
| | ②通学路こども 110 番の家 | 600 戸 | 540 戸 | 523 戸 | 512 戸 | 500 戸 |
| | | | | | | |
| 平成 27 年度 | 分析評価（C） ・評価、改善方策案等 | ①条例の普及については、市内小・中学校に啓発事業の実施を毎年委託し、啓発を図っている。また、平成 27 年度は、子どもの参画を促すパンフレットを作成した。 ②教育委員会と学校を中心として啓発を行い、新規登録者の獲得に努めた。 | | | | |
| | 委員会意見 ・評価等に対する意見 | ①条例の普及については、理解してもらう努力が必要であり、まず周囲の大人に対して啓発を図る。 ②通学路こども 110 番の家については、減らさないのが大切である。 | | | | |
| | 改善提案（A） ・次年度への取組等 | ①子どもの参画を促すパンフレットについて、今後活用を図る。 ②新規登録者の獲得に努める。 | | | | |
| 平成 28 年度 | 分析評価（C） ・評価、改善方策案等 | ①愛知淑徳大学に啓発事業の実施を委託し、大学生と子ども達で製作した「子ども条例カルタ」を使って遊ぶことで条例の啓発を図った。また、愛知学院大学にも委託し、「にしんおやこでローズスクール」を開催し、親子で模擬裁判員裁判を体験することで法律を学び、条例についての意識付けを行った。その他昨年同様、市内小中学校に啓発事業の実施を委託し、条例の啓発を図った。 ②登録者にアンケートを実施することにより、「通学路こども 110 番の家」の利用状況等を把握することができた。登録者が減らないように周知に努める。 | | | | |
| | 委員会意見 ・評価等に対する意見 | ①条例の普及については、理解してもらう努力が必要であり、まず周囲の大人に対して啓発を図る。 ②通学路こども 110 番の家については、減らさないのが大切である。 | | | | |
| | 改善提案（A） ・次年度への取組等 | ①子どもの参画を促すパンフレットについて、今後も活用を図る。 ②新規登録者の獲得に努める。 | | | | |
| 平成 29 年度 | 分析評価（C） ・評価、改善方策案等 | ①昨年同様愛知淑徳大学に啓発事業の実施を委託し、大学生と子ども達で製作した「子ども条例カルタ」を使って遊ぶことで条例の啓発を図った。その他例年同様、市内小中学校に啓発事業の実施を委託し条例の啓発を図った。 ②登録者にアンケートを実施することにより、「通学路こども 110 番の家」の利用状況等を把握することができた。登録者が減らないように周知に努める。 | | | | |
| | 委員会意見 ・評価等に対する意見 | ①条例の普及については、理解してもらう努力が必要であり、まず周囲の大人に対して啓発を図る。 ②通学路こども 110 番の家については、減らさないのが大切である。 | | | | |
| | 改善提案（A） ・次年度への取組等 | ①今後も子ども条例の周知啓発を図る。 ②新規登録者の獲得に努める。 | | | | |

| | | |
|----------------|-----------------------|--|
| 平成 30 年度 | 分析評価（C） ・評価、改善方策案等 | ①条例制定10周年を迎えるにあたり、条例啓発のため10周年イベントの開催、パンフレットや啓発グッズの作成、本市の連携大学に委託し、市内小学生向けに未来をつくる子ども条例の啓発事業等を実施し、条例の啓発を図った。 ②登録者にアンケートを実施することにより、「通学路こども110番の家」の利用状況等を把握することができた。登録者が減らないように周知に努める。 |
| | 委員会意見 ・評価等に対する意見 | ① 条例制定10周年を迎えるにあたり、一層の周知・啓発に努めてほしい。 ② 「通学路こども110番の家」の登録状況の把握をしてほしい。 |
| | 改善提案（A） ・次年度への取組等 | ① 条例制定10周年を迎え、周知・啓発のためのイベントを実施する。 ② 「通学路こども110番の家」の登録状況の把握に努める。 |
| 備 考 | | 活動指標の所管：①子育て支援課 ②学校教育課 |

日進市子ども・子育て支援事業計画 評価シート

シート番号： 4-2

| | | | | | | |
|---------|-----------------------|---|-----|-----|-----|-----|
| 基本目標（P） | | 4 親と子の学びと育ちを促すまちづくり | | | | |
| 個別目標（P） | | （2）子どもへの教育の充実 | | | | |
| | 具体的な個別目標① | 就学前児童施設との連携強化 | | | | |
| | 具体的な個別目標② | 学校教育の充実と活性化 | | | | |
| | 具体的な個別目標③ | 開かれた学校運営 | | | | |
| 活動指標（D） | 項目 | H31 目標 | H27 | H28 | H29 | H30 |
| | ①補助教員の配置 | 70人 | 52人 | 53人 | 50人 | 52人 |
| | ②学生サポーターの配置 | 40人 | 60人 | 79人 | 60人 | 45人 |
| | | | | | | |
| 平成27年度 | 分析評価（C） ・評価、改善方策案等 | 学校運営にきめ細やかに対応するため、適所に人材を配置している。 | | | | |
| | 委員会意見 ・評価等に対する意見 | 教育環境の充実を図ること。 | | | | |
| | 改善提案（A） ・次年度への取組等 | 適所に人材を配置しており、今後も継続する。 | | | | |
| 平成28年度 | 分析評価（C） ・評価、改善方策案等 | ①確かな学力や健やかな心身を育む教育を行うため、適所に補助教員を配置している。 ②市内外の大学に、積極的な応募を呼びかけ、昨年度より登録人数が19名増えた。 | | | | |
| | 委員会意見 ・評価等に対する意見 | 教育環境の充実を図ること。 | | | | |
| | 改善提案（A） ・次年度への取組等 | 適所に人材を配置しており、今後も継続する。 | | | | |
| 平成29年度 | 分析評価（C） ・評価、改善方策案等 | ①確かな学力や健やかな心身を育む教育を行うため、適所に補助教員を配置している。 ②市内外の大学に積極的な応募を呼びかけて、必要な人材を確保している。 | | | | |
| | 委員会意見 ・評価等に対する意見 | 教育環境の充実を図ること。 | | | | |
| | 改善提案（A） ・次年度への取組等 | 適所に人材を配置しており、今後も継続する。 | | | | |

| | | |
|----------------|-----------------------|---|
| 平成 30 年度 | 分析評価（C） ・評価、改善方策案等 | ①確かな学力や健やかな心身を育む教育を行うため、適所に補助教員を配置している。 ②市内外の大学に積極的な応募を呼びかけて、必要な人材を確保している。 |
| | 委員会意見 ・評価等に対する意見 | 教育環境の充実を図ること。 |
| | 改善提案（A） ・次年度への取組等 | 適所に人材を配置しており、今後も継続する。 |
| 備 考 | | 活動指標の所管：①②学校教育課 |

日進市子ども・子育て支援事業計画 評価シート

シート番号： 4-3

| | | | | | | |
|---------|-----------------------|--|-------|-------|-------|-------|
| | 基本目標（P） | 4 親と子の学びと育ちを促すまちづくり | | | | |
| | 個別目標（P） | （3）子どもと親が育ちあう機会の充実 | | | | |
| | 具体的な個別目標① | 親と子のふれあいの場の充実 | | | | |
| | 具体的な個別目標② | 地域活動への支援 | | | | |
| | 具体的な個別目標③ | | | | | |
| 活動指標（D） | 項目 | H31 目標 | H27 | H28 | H29 | H30 |
| | ①異世代交流事業 | 3 事業 | 3 事業 | 4 事業 | 4 事業 | 5 事業 |
| | ②子ども会活動支援 | 75% | 62.5% | 66.6% | 66.2% | 62.1% |
| | | | | | | |
| 平成27年度 | 分析評価（C） ・評価、改善方策案等 | ①異世代交流事業であるが、一部事業においては、異世代交流の趣旨とずれているものがあるため見直しが必要である。 ②地域の子ども会における日進市子ども会連絡協議会への加入率については、微減となっている。 | | | | |
| | 委員会意見 ・評価等に対する意見 | ②子ども会の活動に対して積極的に支援していくことが望まれる。 | | | | |
| | 改善提案（A） ・次年度への取組等 | ②改善策として、補助対象に係る人数要件の緩和を行う。 | | | | |
| 平成28年度 | 分析評価（C） ・評価、改善方策案等 | ①定員に満たない事業もあるため、見直しが必要である。 ②日進市子ども会連絡協議会への加入率は増加となっている。 | | | | |
| | 委員会意見 ・評価等に対する意見 | ②子ども会の活動に対して積極的に支援していくことが望まれる。 | | | | |
| | 改善提案（A） ・次年度への取組等 | ②引き続き補助対象に係る人数要件の緩和を行う他、広報やホームページによる周知、啓発を行う。 | | | | |
| 平成29年度 | 分析評価（C） ・評価、改善方策案等 | ①事業によっては定員に満たないものもあるため、事業内容の精査が必要である。 ②日進市子ども会連絡協議会への加入率は微減となっている。 | | | | |
| | 委員会意見 ・評価等に対する意見 | ②子ども会の活動に対して積極的に支援していくことが望まれる。 | | | | |
| | 改善提案（A） ・次年度への取組等 | ②引き続き補助対象に係る人数要件の緩和を行う他、広報やホームページによる周知、啓発を行う。 | | | | |

| | | |
|----------------|-----------------------|--|
| 平成 30 年度 | 分析評価（C） ・評価、改善方策案等 | ①親子ふれあい講座として拡充して実施した。講座の参加率はほぼ定員いっぱいである。 ②日進市子ども会連絡協議会への加入率は微減となっている。 |
| | 委員会意見 ・評価等に対する意見 | ②子ども会の活動に対して積極的に支援していくことが望まれる。 |
| | 改善提案（A） ・次年度への取組等 | ②については、日進市子ども会連絡協議会の役割や運営形態も含め検討していく。 |
| 備 考 | | 活動指標の所管：①生涯学習課 ②子育て支援課 |

日進市子ども・子育て支援事業計画 評価シート

シート番号： 4-5

| | | | | | | |
|---------|-----------------------|---|-------|-------|-------|-------|
| 基本目標（P） | 4 親と子の学びと育ちを促すまちづくり | | | | | |
| 個別目標（P） | （5）子どもの居場所づくりの充実 | | | | | |
| | 具体的な個別目標① | 自主的活動への支援 | | | | |
| | 具体的な個別目標② | | | | | |
| | 具体的な個別目標③ | | | | | |
| 活動指標（D） | 項目 | H31 目標 | H27 | H28 | H29 | H30 |
| | ①にっしんこども環境会議 | 264 人 | 219 人 | 659 人 | 808 人 | 797 人 |
| | ②子ども会議 | 実施 | 未実施 | 未実施 | 未実施 | 未実施 |
| | | | | | | |
| 平成27年度 | 分析評価（C） ・評価、改善方策案等 | ①毎年、継続した事業を実施しているが、参加者は一定数の実績がある。 ②子ども会議については、現在未実施となっている。 | | | | |
| | 委員会意見 ・評価等に対する意見 | ①について、年々減少する状況ならば、見直しも必要と思われる。 | | | | |
| | 改善提案（A） ・次年度への取組等 | ①今後も継続していくこととしたい。 ②今後、あり方等を含めて検討していく。 | | | | |
| 平成28年度 | 分析評価（C） ・評価、改善方策案等 | ①平成28年度より「にっしんこども環境会議」に関する予算を「にっしんESD普及啓発事業」に統一したため、参加人数が増えているもの。今後もESD普及啓発事業は拡充しつつ継続予定。 ②子ども会議については、平成26年度から未実施となっているが、現在は子ども条例の普及、啓発に取り組んでいる状況である。 | | | | |
| | 委員会意見 ・評価等に対する意見 | 分析評価について、各会議における説明の追記をお願いしたい。 | | | | |
| | 改善提案（A） ・次年度への取組等 | ②引き続き子ども条例の普及啓発に努める。 | | | | |
| 平成29年度 | 分析評価（C） ・評価、改善方策案等 | ①にっしんESD普及啓発事業として、数多くの講座が開催されており、参加人数も増加している。今後も引き続き拡充しつつ継続して実施していく。 ②子ども会議については、平成26年度から未実施となっているが、現在は子ども条例の普及、啓発に取り組んでいる状況である。 | | | | |
| | 委員会意見 ・評価等に対する意見 | ①引き続き事業実施の継続を図る。 | | | | |
| | 改善提案（A） ・次年度への取組等 | ② 引き続き子ども条例の普及啓発に努める。 | | | | |

| | | |
|----------------|-----------------------|---|
| 平成 30 年度 | 分析評価（C） ・評価、改善方策案等 | ① につきんESD 普及啓発事業として数多くの講座が開催されており、参加人数も昨年度と同様に多い。今後も引き続き拡充しつつ継続して実施していく。 ② 子どもからの意見聴取の場として、子ども会議という形態にとられず、ワークショップやアンケートなどにより子どもに関する施策に子どもの意見を反映するよう努めた。 |
| | 委員会意見 ・評価等に対する意見 | ② については、引き続き、子どもからの意見聴取のあり方を検討してほしい。 |
| | 改善提案（A） ・次年度への取組等 | ②については、市が子どもに関する事業を実施する際に、子どもの意見を聴取する仕組みを検討していく。 |
| 備 考 | | 活動指標の所管：①環境課 ②子育て支援課 |

日進市子ども・子育て支援事業計画 評価シート

シート番号： 4-6

| | | | | | | |
|---------|-----------------------|--|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| | 基本目標（P） | 4 親と子の学びと育ちを促すまちづくり | | | | |
| | 個別目標（P） | （6）子育てを支える都市環境の整備 | | | | |
| | 具体的な個別目標① | 安心して外遊びや、外出ができる生活環境の整備 | | | | |
| | 具体的な個別目標② | | | | | |
| | 具体的な個別目標③ | | | | | |
| 活動指標（D） | 項目 | H31 目標 | H27 | H28 | H29 | H30 |
| | ①公園緑地等整備・管理 | 182 箇所 （公園数） | 168 箇所 （公園数） | 170 箇所 （公園数） | 170 箇所 （公園数） | 170 箇所 （公園数） |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| 平成27年度 | 分析評価（C） ・評価、改善方策案等 | 土地区画整理事業により設置された 4 箇所の都市公園の移管を受けた。 | | | | |
| | 委員会意見 ・評価等に対する意見 | 公園緑地等整備について、住民目線で考えてほしい。 | | | | |
| | 改善提案（A） ・次年度への取組等 | 公園緑地等整備は順調に進んでいる。 | | | | |
| 平成28年度 | 分析評価（C） ・評価、改善方策案等 | 土地区画整理事業により設置された都市公園を 1 箇所、開発事業で設置された公園を 1 箇所、合計 2 箇所の公園の移管を受けた。 | | | | |
| | 委員会意見 ・評価等に対する意見 | 公園緑地等整備について、住民目線で考えてほしい。 | | | | |
| | 改善提案（A） ・次年度への取組等 | 公園緑地等整備は順調に進んでいる。 | | | | |
| 平成29年度 | 分析評価（C） ・評価、改善方策案等 | 新たな公園の整備や移管はなかったが、土地区画整理事業により設置された 15 箇所の緑地の移管を受けた。 | | | | |
| | 委員会意見 ・評価等に対する意見 | 公園緑地等整備について、住民目線で考えてほしい。 | | | | |
| | 改善提案（A） ・次年度への取組等 | 公園緑地等整備は順調に進んでいる。 | | | | |

| | | |
|----------------|-----------------------|---|
| 平成 30 年度 | 分析評価（C） ・評価、改善方策案等 | 開発事業で設置された公園（その他広場）について1箇所移管を受けた一方、地権者の意向により公園（ちびっこ広場）を1箇所閉鎖した。 |
| | 委員会意見 ・評価等に対する意見 | 公園緑地等整備について、住民目線で考えてほしい。 |
| | 改善提案（A） ・次年度への取組等 | 公園緑地等整備は順調に進んでいる。 |
| 備 考 | | 活動指標の所管：①都市計画課 |

日進市子ども・子育て支援事業計画 評価シート

シート番号： 5-1

| | | | | | | |
|----------|---------------------------|--|-----|-----|-----|-----|
| 基本目標 (P) | 5 要保護児童等に対する総合的な支援の仕組みづくり | | | | | |
| 個別目標 (P) | (1) 児童虐待の発生予防の推進 | | | | | |
| | 具体的な個別目標① | 虐待・DV防止の啓発 | | | | |
| | 具体的な個別目標② | 組織の充実と連携強化 | | | | |
| | 具体的な個別目標③ | | | | | |
| 活動指標 (D) | 項目 | H31 目標 | H27 | H28 | H29 | H30 |
| | ①DV防止計画の策定 | 実施 | 実施 | 実施 | 実施 | 実施 |
| | ②要保護児童対策地域協議会 | 実施 | 実施 | 実施 | 実施 | 実施 |
| | | | | | | |
| 平成27年度 | 分析評価 (C) ・評価、改善方策案等 | ①第2次男女平等推進プランの中間見直しに伴い、部分計画として策定。 ②要保護児童対策地域協議会代表者会議を1回、ネットワーク会議を12回開催した。 | | | | |
| | 委員会意見 ・評価等に対する意見 | 引き続き実施する。 | | | | |
| | 改善提案 (A) ・次年度への取組等 | ①今後はこの計画を基に他課と連携を取りつつ虐待・DV防止の啓発に努める。 | | | | |
| 平成28年度 | 分析評価 (C) ・評価、改善方策案等 | ①・図書館とにぎわい交流館にDV防止啓発パネルを展示。男女平等推進情報コーナー所蔵の関連図書を紹介及び貸出 ・DV防止週間に合わせ、広報11月号にて特集記事を掲載。男女平等推進情報誌「はーもにっしん」にてDV相談窓口を紹介 ・にっしんわいわいフェスティバルにて、出展団体ブースにDV防止の「パープルリボン」及び虐待防止の「オレンジリボン」を掲示。さらに団体スタッフの胸元に「オレンジリボン」を付け啓発を行った。 ・日進北中学校にて生徒に対しデートDV防止の講演会を実施 ・福祉会館（岩崎・香久山、相野山）にて関連図書の閲覧及び貸出 ②要保護児童対策地域協議会代表者会議を1回、ネットワーク会議を12回開催し、関係機関との連携強化を図った。 | | | | |
| | 委員会意見 ・評価等に対する意見 | 引き続き実施する。 | | | | |
| | 改善提案 (A) ・次年度への取組等 | ① 今後はこの計画を基に他課と連携を取りつつ虐待・DV防止の啓発に努める。 | | | | |
| 平成29年度 | 分析評価 (C) ・評価、改善方策案等 | ①・図書館とにぎわい交流館にDV防止啓発パネルを展示。男女平等推進情報コーナー所蔵の関連図書の紹介及び貸出 ・DV防止週間に合わせ、広報11月号にて特集記事を掲載。男女平等推進情報誌「はーもにっしん」にてDV相談窓口を紹介 ・にっしんわいわいフェスティバルにて、出展団体スタッフの胸元に「オレンジリボン」を付け啓発を行った。 ・愛知県立日進高等学校にて生徒に対しデートDV防止の授業を実施 ・福祉会館（西部・北部）にて関連図書の閲覧及び貸出 ②要保護児童対策地域協議会代表者会議を1回、ネットワーク会議を12回開催し、関係機関との連携強化を図った。 | | | | |

| | | |
|----------------|-----------------------|---|
| | 委員会意見 ・評価等に対する意見 | 引き続き実施する。 |
| | 改善提案（A） ・次年度への取組等 | ① 今後はこの計画を基に他課と連携を取りつつ虐待・DV防止の啓発に努める。 |
| 平成 30 年度 | 分析評価（C） ・評価、改善方策案等 | ① 図書館とにぎわい交流館にDV防止啓発パネルを展示。人権・男女共同参画情報コーナー所蔵の関連図書の紹介及び貸出 ・DV防止週間に合わせ、広報11月号にて特集記事を掲載。人権・男女共同参画情報誌「はーもにっしん」にてDV相談窓口を紹介 ・DV相談窓口リーフレット・カードを作成し、配布 ・中部大学第一高等学校にて生徒に対しデートDV防止の講義を実施 ・福祉会館（東部）にて関連図書の閲覧及び貸出 ② 要保護児童対策地域協議会代表者会議を1回、ネットワーク会議を12回開催し、関係機関との連携強化を図った。 |
| | 委員会意見 ・評価等に対する意見 | 引き続き実施する。 |
| | 改善提案（A） ・次年度への取組等 | ① 引き続き、この計画を基に他課と連携を取りつつ虐待・DV防止の啓発に努める。 |
| | 備考 | 活動指標の所管：①市民協働課 ②子育て支援課 |

日進市子ども・子育て支援事業計画 評価シート

シート番号： 5-2

| | | | | | | |
|---------|-----------------------|---|-----|-----|-----|-----|
| 基本目標（P） | | 5 要保護児童等に対する総合的な支援の仕組みづくり | | | | |
| 個別目標（P） | | （2）要保護児童等へのきめ細やかな対応 | | | | |
| | 具体的な個別目標① | 経済的な援助 | | | | |
| | 具体的な個別目標② | 児童保護 | | | | |
| | 具体的な個別目標③ | | | | | |
| 活動指標（D） | 項目 | H31 目標 | H27 | H28 | H29 | H30 |
| | ①児童サービス利用料の軽減制度 | 実施 | 実施 | 実施 | 実施 | 実施 |
| | ②母子施設 | 実施 | 実施 | 実施 | 実施 | 実施 |
| | | | | | | |
| 平成27年度 | 分析評価（C） ・評価、改善方策案等 | ①保育園：平成27年度から低所得者の保育料の軽減を実施した。 子ども発達支援センター：平成24年度開設時から法制度上の所得に応じた利用者負担上限月額を設定し、国基準に基づく低所得世帯への減免を行った。 児童クラブ：生活保護世帯や市民税非課税世帯、ひとり親世帯への利用料減免制度を設け、経済的な援助を行った。 ②DV相談を実施し、相談者に対する各課連携や関係機関（警察など）との調整を行った。体制を整えているが利用する事案は無かった。 | | | | |
| | 委員会意見 ・評価等に対する意見 | 母子施設について、関係機関との連携を密に取り組むこと。 | | | | |
| | 改善提案（A） ・次年度への取組等 | 引き続き実施する。 | | | | |
| 平成28年度 | 分析評価（C） ・評価、改善方策案等 | ①保育園：平成28年度も低所得階層の保育料の軽減を実施した。 子ども発達支援センター：平成28年度も法制度上の所得に応じた利用者負担上限月額設定と国基準に基づく低所得世帯への減免を行った。 児童クラブ・放課後子ども教室：生活保護世帯や市民税非課税世帯、ひとり親世帯への利用料減免制度を設け、経済的な援助を行った。 ②DV相談等を実施し、相談者に対する各課連携や関係機関（警察など）との調整を行った。利用対象となる世帯はいなかった。 | | | | |
| | 委員会意見 ・評価等に対する意見 | 母子施設について、関係機関との連携を密に取り組むこと。 | | | | |
| | 改善提案（A） ・次年度への取組等 | 引き続き実施する。 | | | | |
| 平成29年度 | 分析評価（C） ・評価、改善方策案等 | ①保育園：平成29年度も低所得階層の保育料の軽減を実施した。 子ども発達支援センター：平成29年度も法制度上の所得に応じた利用者負担上限月額設定と、国基準に基づく低所得世帯への減免を行った。 児童クラブ・放課後子ども教室：生活保護世帯や市民税非課税世帯、ひとり親世帯への利用料減免制度を設け、経済的な援助を行った。 ②DV相談を実施し、相談者に対する各課連携や関係機関（警察など）との調整を行った。母子生活支援施設等連携を図り、利用対象となる世帯があった。 | | | | |
| | 委員会意見 ・評価等に対する意見 | 母子施設について、関係機関との連携を密に取り組むこと。 | | | | |
| | 改善提案（A） ・次年度への取組等 | 引き続き実施する。 | | | | |

| | | |
|----------------|-----------------------|---|
| 平成 30 年度 | 分析評価（C） ・評価、改善方策案等 | ①保育園：平成30年度も低所得階層の保育料の軽減を実施した。 子ども発達支援センター：平成30年度も法制度上の所得に応じた利用者負担上限月額設定と、国基準に基づく低所得世帯への減免を行った。 児童クラブ・放課後子ども教室：生活保護世帯や市民税非課税世帯、ひとり親世帯への利用料減免制度を設け、経済的な援助を行った。 ②DV相談を実施し、相談者に対する各課連携や関係機関（警察など）との調整を行った。母子生活支援施設等連携を図り、利用対象となる世帯があった。 |
| | 委員会意見 ・評価等に対する意見 | ひとり親家庭などについて、関係機関との連携を密に取り必要な支援を組むこと。 |
| | 改善提案（A） ・次年度への取組等 | ひとり親家庭などの自立支援に努めていく。 |
| 備 考 | | 活動指標の所管：①子育て支援課、こども課 ②子育て支援課 |

日進市子ども・子育て支援事業計画 評価シート

シート番号： 5-3

| | | | | | | |
|---------|---------------------------|---|-----|-----|-----|-----|
| 基本目標（P） | 5 要保護児童等に対する総合的な支援の仕組みづくり | | | | | |
| 個別目標（P） | （3）障害児、発達障害児等への支援 | | | | | |
| | 具体的な個別目標① | 相談支援・情報提供の充実 | | | | |
| | 具体的な個別目標② | 障害児向け福祉サービス | | | | |
| | 具体的な個別目標③ | 特別支援教育の充実 | | | | |
| 活動指標（D） | 項目 | H31 目標 | H27 | H28 | H29 | H30 |
| | ①親子通園事業 | 24人 (月あたり) | 24人 | 24人 | 24人 | 24人 |
| | ②保育所等訪問事業 | 93人 (延べ利用) | 19人 | 29人 | 19人 | 25人 |
| | ③特別支援教育補助教職員 | 40人 | 37人 | 38人 | 41人 | 45人 |
| 平成27年度 | 分析評価（C） ・評価、改善方策案等 | ①発達が気になる未就園の子どもやその保護者が集う場として、平成27年度から開始。集団遊びを通じて特性に応じた関わり方を学んだり、スタッフに気軽に相談したりできる場として機能した。また、健康課で実施している健診事後教室「ちびっ子教室」で対象児を把握し参加勧奨した。 ②平成27年度は保育所等訪問支援の担当職員の欠員があり、実績を増やすことが困難であった。 ③年々、特別支援教育の充実が求められている。 | | | | |
| | 委員会意見 ・評価等に対する意見 | さらなる充実を図ってほしい。 | | | | |
| | 改善提案（A） ・次年度への取組等 | ①適切な時期に参加のなかった子どもへの対応を今後検討する。 ②今後、担当職員の確保等について検討が必要と考える。 ③人的配置について、今後も可能な限り配慮していく。 | | | | |
| 平成28年度 | 分析評価（C） ・評価、改善方策案等 | ①昨年度に引き続き、健康課と連携して実施した。これまでの実績等を踏まえ、保護者のグループ相談・食事指導の回数増等を実施し内容の充実を図る。また、健康課で実施している健診事後教室「ちびっ子教室」で対象児を把握し参加勧奨した。 ②担当職員が復帰し昨年度実績は上回ったが、他業務と兼務のため実績を大幅に増やすことは困難だった。 ③障害や疾病等で支援を必要とする子どもが年々増えており、特別支援教育の充実が求められている。 | | | | |
| | 委員会意見 ・評価等に対する意見 | さらなる充実を図ってほしい。 | | | | |
| | 改善提案（A） ・次年度への取組等 | ①適切な時期に参加のなかった子どもへの対応を今後検討する。 ②今後、担当職員の確保等について検討が必要と考える。 ③人的配置について、今後も可能な限り配慮していく。 | | | | |

| | | |
|----------------|-----------------------|--|
| 平成 29 年度 | 分析評価（C） ・評価、改善方策案等 | <p>①昨年度に引き続き、こども課と健康課と連携して実施。保護者のグループ相談・食事指導等内容の充実を図った。また、健康課で実施している健診事後教室「ちびっ子教室」で対象児を把握し、参加を勧奨した。3年目となり、支援の必要がある児が参加できているが、一方で途中辞退者があり継続参加できるよう、保護者へ教室の意義を周知していき、支援の充実を図る。</p> <p>②担当職員が他業務と兼務のため保育所等訪問支援の実績を増やすことは困難であったが、巡回支援専門員による巡回指導で、保育所等に通う子どもへの支援を行った。</p> <p>③人的配置について、今後も可能な限り配慮していく。</p> |
| | 委員会意見 ・評価等に対する意見 | <p>従来事業の新たなニーズが生まれてきている。利用者が多くなった結果、実施回数の減少など、内容的に希薄になっていると思われる部分もあるため、内容の充実を図ってほしい。</p> <p>また、すすく園と市との連携を図ると共に、保護者への情報周知に努めてほしい。療育支援のニーズの現状に合わなくなってきている部分もあり、次期計画で今後対応できるように改めていくべきである。</p> <p>その他、相談機関における人的配置についても、増加を検討してほしい。</p> |
| | 改善提案（A） ・次年度への取組等 | <p>あじさい教室の参加者が増えるような工夫を図るとともに、他の支援の充実を図る。また、市とすすく園との間で、子どもに関する十分な情報交換を行う。</p> |
| 平成 30 年度 | 分析評価（C） ・評価、改善方策案等 | <p>① 昨年度に引き続き、こども課と健康課で連携して実施した。目的意識を持って教室に通っていただくため、口頭説明に加えてあじさい便りを配布し、教室の意義や狙いの周知を図った。また、健康課で実施している検診事後教室「ちびっこ教室」で対象児を把握し、参加を勧奨した。</p> <p>② 利用の流れを整理して相談支援事業所に周知を行った。保育所等訪問支援が必要な対象児が適正にサービス利用できるよう、引き続き制度周知等を行っていく。</p> <p>③障害や疾病等で支援を必要とする子どもが年々増えており、特別支援教育の充実が求められているため、適正な人的配置ができるよう今後も可能な限り配慮していく。</p> |
| | 委員会意見 ・評価等に対する意見 | <p>療育支援のニーズは増加傾向にあるので、必要な支援の充実にも努めてほしい。</p> |
| | 改善提案（A） ・次年度への取組等 | <p>療育支援のニーズは増加傾向にある中で、関係機関との連携を図り対応していく。</p> |
| 備 考 | | 活動指標の所管：①こども課、健康課 ②こども課 ③学校教育課 |

日進市子ども・子育て支援事業計画 評価シート

シート番号： 5-4

| | | | | | | |
|---------|-----------------------|---|-----|-----|-----|-----|
| 基本目標（P） | | 5 要保護児童等に対する総合的な支援の仕組みづくり | | | | |
| 個別目標（P） | | （4）不登校児童等への支援 | | | | |
| | 具体的な個別目標① | 教育支援センターの充実 | | | | |
| | 具体的な個別目標② | 民間団体との連携強化 | | | | |
| | 具体的な個別目標③ | | | | | |
| 活動指標（D） | 項目 | H31 目標 | H27 | H28 | H29 | H30 |
| | ①専門的職員の配置 | 1人 | 4人 | 5人 | 6人 | 7人 |
| | ②連絡会議の開催 | 実施 | 実施 | 実施 | 実施 | 実施 |
| | | | | | | |
| 平成27年度 | 分析評価（C） ・評価、改善方策案等 | 複雑な家庭環境や友人関係などの問題の解決にあたる専門職としてスクールソーシャルワーカーを配置し、不登校児童の学校への復帰の後押しだけでなく、不登校を未然に防ぐ手助けができた。 | | | | |
| | 委員会意見 ・評価等に対する意見 | さらなる充実を図ってほしい。 | | | | |
| | 改善提案（A） ・次年度への取組等 | 継続して実施する。 | | | | |
| 平成28年度 | 分析評価（C） ・評価、改善方策案等 | ①複雑な家庭環境や友人関係などの問題の解決にあたる専門職であるスクールソーシャルワーカーを2名に増員し、不登校児童の学校への復帰の後押しだけでなく、不登校を未然に防ぐ手助けができた。 | | | | |
| | 委員会意見 ・評価等に対する意見 | さらなる充実を図ってほしい。 | | | | |
| | 改善提案（A） ・次年度への取組等 | 継続して実施する。 | | | | |
| 平成29年度 | 分析評価（C） ・評価、改善方策案等 | ①教育支援センター、SSW、SV（スーパーバイザー）で連携して、不登校児童の学校への復帰の後押しや未然に防ぐ手助けができた。 | | | | |
| | 委員会意見 ・評価等に対する意見 | 配置人数が増加しており、引き続き充実を図ってほしい。 | | | | |
| | 改善提案（A） ・次年度への取組等 | 継続して実施する。 | | | | |

| | | |
|----------------|-----------------------|---|
| 平成 30 年度 | 分析評価（C） ・評価、改善方策案等 | 教育支援センター、スクールソーシャルワーカー、SV（スーパーバイザー）が連携して、不登校児童生徒の学校への復帰支援や不登校の未然防止の手助けをすることができた。スクールソーシャルワーカーを1名増員し、支援を充実させることができた。 |
| | 委員会意見 ・評価等に対する意見 | 対象案件が増加しており、引き続き人材の充実を図ってほしい。 |
| | 改善提案（A） ・次年度への取組等 | スクールソーシャルワーカーの増員を検討していく。 |
| 備 考 | | 活動指標の所管：①②学校教育課 |

日進市子ども・子育て支援事業計画 評価シート

シート番号： 5-5

| | | | | | | |
|---------|---------------------------|--|------|------|------|------|
| 基本目標（P） | 5 要保護児童等に対する総合的な支援の仕組みづくり | | | | | |
| 個別目標（P） | （5）ひとり親家庭への支援 | | | | | |
| | 具体的な個別目標① | 社会的自立に向けた支援 | | | | |
| | 具体的な個別目標② | 経済的支援 | | | | |
| | 具体的な個別目標③ | | | | | |
| 活動指標（D） | 項目 | H31 目標 | H27 | H28 | H29 | H30 |
| | ①高等職業訓練促進給付金 | 実施 | 0人 | 1人 | 1人 | 1人 |
| | ②日進市遺児手当制度 | 実施 | 559人 | 549人 | 530人 | 512人 |
| | | | | | | |
| 平成27年度 | 分析評価（C） ・評価、改善方策案等 | ①就職に有利な資格を取得し、安定して雇用されたい対象者が潜在的にいると思われる。 ②現在の制度は所得制限、年数制限が無く、年々対象者が増加している。 | | | | |
| | 委員会意見 ・評価等に対する意見 | ②について、今後増加が見込まれることを踏まえて検討してほしい。 | | | | |
| | 改善提案（A） ・次年度への取組等 | ①案内、周知を行っていく。 ②受給者の自立を妨げない手当の見直しを図る必要があり、検討を要する。 | | | | |
| 平成28年度 | 分析評価（C） ・評価、改善方策案等 | ①就職に有利な資格取得と経済的自立のため給付金を支給した。まだ、対象者が潜在的にいると思われるため継続して案内等行っていく。 ②所得制限、年数制限がない事から一度給付を受けてしまうとそれ以後の見直し等の検討ができない。 | | | | |
| | 委員会意見 ・評価等に対する意見 | ②について、今後増加が見込まれることを踏まえて検討してほしい。 | | | | |
| | 改善提案（A） ・次年度への取組等 | ①案内、周知を行っていく。 ②受給者の自立を妨げない手当の見直しを図る必要があり、検討を要する。 | | | | |
| 平成29年度 | 分析評価（C） ・評価、改善方策案等 | ①就職に有利な資格取得と経済的自立のため給付金を支給した。まだ、対象者が潜在的にいると思われるため継続して案内等行っていく。 ②所得制限、年数制限がない事から一度給付を受けてしまうとそれ以後の見直し等の検討が難しいため検討ができていない。 | | | | |
| | 委員会意見 ・評価等に対する意見 | ②について、今後を踏まえて検討してほしい。 | | | | |
| | 改善提案（A） ・次年度への取組等 | ①案内、周知を行っていく。 ②受給者の自立を妨げない手当の見直しを図る必要があり、検討を要する。 | | | | |

| | | |
|----------------|-----------------------|---|
| 平成 30 年度 | 分析評価（C） ・評価、改善方策案等 | ①就職に有利な資格取得と経済的自立のため給付金を支給した。まだ、対象者が潜在的にいると思われるため継続して案内等行っていく。 ②外部評価に諮り制度の見直しの検討を実施した。 |
| | 委員会意見 ・評価等に対する意見 | ②については、外部評価の検討結果を踏まえ検討を進めてほしい。 |
| | 改善提案（A） ・次年度への取組等 | ②については、来年度からの改正を目指し手続きを進めていく。 |
| 備 考 | | 活動指標の所管：①②子育て支援課 |

日進市子ども・子育て支援事業計画 評価シート

シート番号： 5-6

| | | | | | | |
|---------|---------------------------|--|-----|-----|-----|-----|
| 基本目標（P） | 5 要保護児童等に対する総合的な支援の仕組みづくり | | | | | |
| 個別目標（P） | （6）子どもの貧困に対する支援 | | | | | |
| | 具体的な個別目標① | | | | | |
| | 具体的な個別目標② | | | | | |
| | 具体的な個別目標③ | | | | | |
| 活動指標（D） | 項目 | H31 目標 | H27 | H28 | H29 | H30 |
| | ①日進市こどもの学習支援事業【新規】 | 実施 | 未実施 | 未実施 | 実施 | 実施 |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| 平成27年度 | 分析評価（C） ・評価、改善方策案等 | 子育て支援課：今後、関係各課と協議、検討していく。 地域福祉課：未実施のため該当ありません。 生涯学習課：各担当課がばらばらに行うのではなく、市としてどういった支援をどのような形で実施していくのか等の仕組みづくりが必要である。 学校教育課：現在のところ実施する予定はありません。 | | | | |
| | 委員会意見 ・評価等に対する意見 | 求められている支援内容を検証すること。 | | | | |
| | 改善提案（A） ・次年度への取組等 | 今後検討していく必要がある。 | | | | |
| 平成28年度 | 分析評価（C） ・評価、改善方策案等 | 子育て支援課：関係各課と協議検討の結果、こどもの学習支援事業として、平成29年度から地域福祉課が主管課として実施。 地域福祉課：生活困窮家庭の子どもの学習支援について検討した。 生涯学習課：現在のところ実施する予定はありません。 学校教育課：地域福祉課、子育て支援課と連携協議し、平成29年度から地域福祉課による学習支援事業が実施される。 | | | | |
| | 委員会意見 ・評価等に対する意見 | 求められている支援内容を検証すること。 | | | | |
| | 改善提案（A） ・次年度への取組等 | 平成29年度から実施する予定である。 | | | | |
| 平成29年度 | 分析評価（C） ・評価、改善方策案等 | 平成29年度から地域福祉課による学習支援事業が実施。 | | | | |
| | 委員会意見 ・評価等に対する意見 | 引き続き支援に努めてほしい。 | | | | |
| | 改善提案（A） ・次年度への取組等 | 引き続き実施する。 | | | | |

| | | |
|----------------|-----------------------|--|
| 平成 30 年度 | 分析評価（C） ・評価、改善方策案等 | 地域福祉課：平成29年度から継続して小学生を対象にした学習支援事業を公益社団法人シルバー人材センターに委託し、実施している。 |
| | 委員会意見 ・評価等に対する意見 | 引き続き支援に努めてほしい。 |
| | 改善提案（A） ・次年度への取組等 | 子どもの貧困対策として、貧困世帯等の中学生向けに学習支援の場を検討していく。 |
| 備 考 | | 活動指標の所管：①子育て支援課、地域福祉課、学校教育課 |